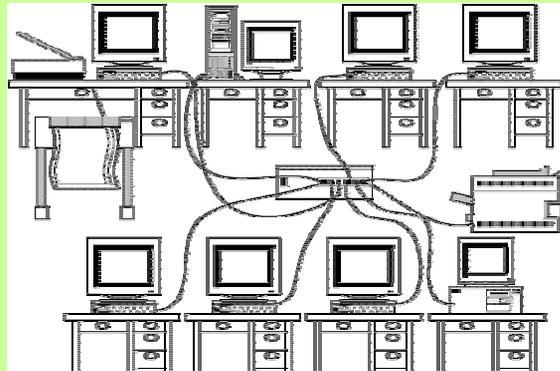




SSS-PC (スリー・エス・ピーシー) は単体マシンから10万台規模のPCやサーバーまでを束ねて使用可能な次世代スケーラブルオペレーティングシステムです。職場の遊休計算機資源を高性能高信頼並列計算機として活用できます。



職場の計算機群を高性能並列計算機に

特徴

1. 高性能、低遅延、低オーバーヘッドの汎用通信方式: MBCF
2. タスクマイグレーションによる無停止メンテナンス
3. 自由市場原理 (FMM) に基づく負荷分散機能
4. マシン境界を越えた情報開示機構: IDM
5. LINUX・UNIXプログラムとのソースコード互換開発環境
6. 分散共有メモリサポート: ADSM/UDSM
7. 並列プログラムの多重並行処理 (マルチタスク)
8. 共有メモリプログラム用最適化コンパイラ: RCOP
9. 高性能MPIライブラリ: MPI/MBCF
10. 純国産オペレーティングシステム

動作確認済計算機

PC

Graphics:i815,VESA2,VESA3 Network:Ethernet(100Mb)

Sun ワークステーション (SS10, SS20, Ultra2, Ultra60)

Graphics:Creator3D,TurboGX Network:Ethernet(100Mb,Giga)

上記プラットフォームにおいてネットワークブートで起動
他オペレーティングシステムとのディスク共用が可能



並列アプリケーションのマルチタスク実行

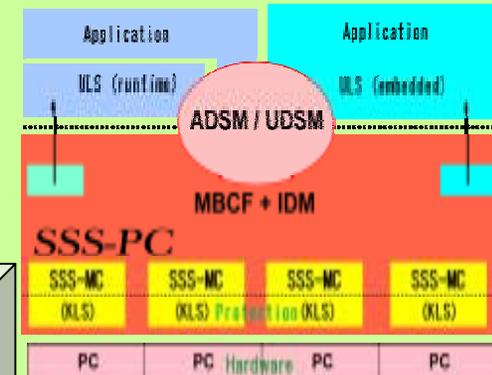


SSS-PCの開発実行環境

研究開発元: 松本 尚 (国立情報学研究所)
株式会社情報科学研究所 WWW.ISLL.CO.JP

SSS-PC の開発は情報処理振興事協会 (1994~) および
科学技術振興事業団さきがけ研究21 (1998~2001) の研究開発
助成プログラムによって支援されました。

SSS-PC に関するお問い合わせは松本 (03-5834-0971, info@ssspc.org)
までお願いします。



MBCF: Memory-Based Communication Facilities
ADSM: Asymmetric Distributed Shared Memory
UDSM: User-level Distributed Shared Memory
KLS: Kernel Level Scheduler
ULS: User Level Scheduler
IDM: Information Disclosure Mechanism

SSS-PCの機能構成